

第24回技術情報検討会議事概要

1. 日 時:平成29年1月20日(金) 10:00~11:50

2. 場 所:原子力規制委員会13階 会議室 B

3. 出席者:

原子力規制委員会

更田原子力規制委員

原子力規制庁

櫻田技術総括審議官、山田原子力規制部長、大村緊急事態対策監、山形審議官、青木審議官、小野安全規制管理官(BWR)、市村安全規制管理官(PWR)、澤田安全規制管理官(発電炉検査)、倉崎技術基盤課長、鬼沢安全技術管理官(システム安全)、梶本安全技術管理官(シビアアクシデント)、内田安全技術管理官(核燃料廃棄物)、原国際室長

志間安全規制調整官、瀧田首席技術研究調査官、川内主席技術研究調査官、小林技術研究調査官、岩澤課長補佐、高須管理官補佐、西岡室長補佐、永井品質管理専門官、千葉統括原子力施設検査官、尾崎係長、坂本係長、鈴木係長、志賀原子力保安検査官、河合原子力規制専門職、佐々木原子力規制専門職、二宮品質管理専門官、穂藤係員

日本原子力研究開発機構

中塚規制情報分析室技術主幹

事務局

荒木原子力規制企画課長、石井企画官、小林課長補佐、帯刀課長補佐、片岡専門職、根塚課長補佐、松田係員

4. 議題:

- (1) 【審議】 外部溢水に対する規制要求に関する評価(案)
- (2) 【報告】 福島第二原子力発電所 3号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ停止事象について(案)
- (3) 【報告】 IAEAにおいて検討中の人間工学設計指針について(案)
- (4) 【審議】 国際会議等の結果のフォローアップを強化するためのマネジメントシステムの明確化について(案)
- (5) 【報告】 スクリーニングの状況について(案)
- (6) その他

5. 議事要旨

(1) 外部溢水に対する規制要求に関する評価

安全規制管理官(BWR)付より、資料24-2に基づき「外部溢水に対する規制要求に関する評価(案)」について説明がなされた。

議論の結果、おおむね了解されたが、技術情報検討会は、発生した事案を規制に反映させることの可否を技術的観点から検討する場であることから、表題を「外部溢水に対する規制要求に関する評価」から「外部溢水に対する規制要求に関する検討」へと変更させ、次回技術情報検討会で最終資料として確定させることとした。

(2) 福島第二原子力発電所3号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ停止事象について

安全規制管理官(BWR)付より、資料24-3に基づき「福島第二原子力発電所3号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ停止事象について(案)」について説明がなされた。本件は、昨年11月22日に発生した福島第二原子力発電所3号機の使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ停止事象について、発生メカニズム、設計・設備・運転管理の状況等を分析したものの。議論の結果、分析結果については、妥当なものであると判断された。また、同日の地震によるスロッシングによって、本事象の他に、使用済燃料プールの排気ダクトへプール水が流入し排気ダクトからプール水が管理区域内に漏えいした事象についても報告された。

(3) IAEA における検討中の人間工学設計指針について

安全技術管理官(システム安全担当)より、資料24-4に基づき「IAEA において検討中の人間工学設計指針について(案)」について説明がなされた。本 IAEA 指針は、最終的には国内の設置許可基準等への取り入れも考慮することになると考えられるため、①具体的な実施方法等も見据えながら、人間工学ガイドの検討をしてほしいこと、②国内で検討している検査制度の見直しに関連する事項もあることから幅広く関係各課に情報共有してほしいことが、確認された。

(4) 国際会議等の結果のフォローアップを強化するためのマネジメントシステムの明確化について

国際室より、資料24-5に基づき「国際会議等の結果のフォローアップに係るマネジメントシステムの明確化(案)」について説明がなされた。議論の結果、本取組は国際会議等の結果の庁内共有及びフォローアップを強化するための重要な取り組みであるとされた。運用していくことが大事であり、具体的な実施方法は、運用しながら柔軟に行うこととし、国際室だけの問題とせず、原子力規制庁内すべての部署が本件に対し協力していくことが確認された。なお、国際会議で議論される内容等には非公開の情報も含まれるので、その取扱いについては、十分に留意することが必要であるとされた。また、これに関連し、TSO である JAEA との情報共有も今後検討することとなった。

(5) スクリーニングの状況について

原子力規制企画課より、資料24-6に基づき「スクリーニング状況について(案)」について説明がなされた。今回は、すべての案件が1次スクリーニングにおいて、スクリーニングアウトとなっている。本資料について、コメント等があれば、1週間以内に事務局まで連絡いただき、それを検討・反映した上で、次回技術情報検討会で確定版として報告することを伝えた。

(6) その他

○次回開催は、2月27日(月)午前の予定とした。

以上